

「フリースクール等に関するモデル事業」業務委託 調査報告書

令和6年 12月 18日

千葉県教育委員会教育長 様

所在地 千葉県茂原市小林 3136-7
郵便番号 297-0062
事業者名 StudyBase
代表者職・氏名 中尾 光

「フリースクール等に関するモデル事業」業務委託について、別添のとおり報告します。

【業務内容】

(1) フリースクール等と学校との連携
ア フリースクール等と学校との効果的な情報共有
当フリースクールが、学校との効果的な情報共有に向けて行った取り組みは以下の3点である。 1. 月末の報告書の提出 2. タブレットを用いた日々の活動報告 3. 児童生徒が在籍する学校への訪問 以上についての詳細が、下記である。 1. 月末の報告書の提出 毎月末に児童生徒の通っている学校へ、利用日・教科・学習内容・1ヶ月の活動内容を記した報告書を提出した。当初、各学校へ届けていたが、現在はメールにてパスワードをかけたPDFを送付する形となっている。その報告書をご確認いただき、要録上の出席日数のカウントとしている学校がほとんどである。毎月末報告と決めることで、定期的に学校とやりとりをする機会になっている。 2. タブレットを用いた日々の活動報告 担任と生徒本人だけのGoogle クラスルームを作成いただき、フリースクールへ登校した際にはタブレットにて、登校した旨と活動内容を本人より送信している。現在は、学校状況から中学生のみの取り組みとなっている。生徒本人も、習慣として取り組むことができおり、学校と関わる機会となっている。実証を始めることができたのが、11月頃だったため、まだ検証段階であるので、引き続き続けていきたい。 3. 児童生徒が在籍する学校への訪問 タブレットを用いたやりとりのご提案も含め、児童生徒が在籍する学校へ訪問を行った。新しくフリースクールの利用を始めた児童生徒については、電話連絡を行い、訪問の調整を行なっているところである。フリースクールがこの地域にはまだまだ少なく、こういった活動をしているのか学校へ伝えきれていない部分がある。また、学校側もフリースクール等、学校以外の学びの場が増えていく状況であることは把握しつつも、実際にこういった連携が適切であるのか戸惑っている様子も感じ取れた。繰り返し、お話をすることで、児童生徒を第一に考えた連携を深めていきたい。

イ フリースクール等における学習や活動内容が学校における適切な評価につながるための手法

当フリースクールが、適切な評価につながる手法として行った取り組みは以下である。

1. タブレットで学習した内容を報告
2. 学校の教材を用いた学習指導
3. 月末の報告書にて、学習した内容を報告

以上についての詳細が、下記である。

1. タブレットで学習した内容を報告

タブレットにて、学習した内容をその日のうちに撮影して送信したり、テキストにて報告を行ったりしている。月末の報告書よりも、よりタイムリーな児童生徒の様子を伝えることができた。担任の先生から返信があると、本人も嬉しそうな様子であった。評価に反映するにあたっては、必要な情報（ワーク等の取り組み状況・小テストの点数など）を模索している段階である。特に中学校については、教科担任制であり、全ての先生がタブレットを確認し評価へ反映していくのは、まだまだ課題が多い状況である。定期的に学校へのヒアリングを行いながら、引き続き検証していきたい。

2. 学校の教材を用いた学習指導

児童生徒の学習進度が学校と並行している場合には、ワークなどの学校で行っている教材を学校と同じスケジュールで提出をできるようサポートを行った。学校へ行けていなくても、同じ学習スピードで取り組めていることに児童生徒本人も安心しながら学んでいるようであり、学校側としても提出物に関する評価は付けやすいとのことであった。

3. 月末の報告書にて、学習した内容を報告

月末報告書に、学習の単元名を明記するよう心掛け、評価する際に把握しやすいよう報告を行った。実際に評価へ反映するには、情報が少ないため、タブレットを用いた報告も合わせて検証していきたい。

ウ その他

昨今の状況より、フリースクール等が増えていく状況から各教育委員会では、登校扱いとする判断基準の制定に向けて動いているとのことをお話を伺った。その中で、カリキュラムの設置と個別の支援計画があると、より判断しやすいとのことであった。当フリースクールでは、個別の支援計画は作成できていないため、検討していきたい。

(2) フリースクール等と学校・教育委員会との協力による児童生徒の社会的自立に資する取組

児童生徒の社会的自立に向けて行った取り組みは以下である。

1. 教育委員会と連携した体験活動
2. 教育委員会・民間企業と連携して運動会を開催

以上についての詳細が、下記である。

1. 教育委員会と連携した体験活動

下記の2つの取り組みを行った。

- ・ 茂原市給食センターへの訪問

茂原市教育委員会と連携を行い、給食の試食会と栄養士による食育の授業を開催していただいた。5年前に新しくなった施設での日々の給食へのこだわりをご説明いただき、実際に使っている器具の大きさや衛生管理の徹底など普段知ることのできない貴重なお話を聞くことができた。参加した児童生徒も行く前から楽しみにしており、意欲的に参加することができた。最後には、第2回も開催しようとお話もいただき、児童生徒も楽しみにしており、年明けに開催できるよう準備を進めている。

- ・ ヤギ牧場にて飼育体験

睦沢町教育委員会からのご紹介をいただき、むつざわヤギ牧場さんへ月に1回訪問し、ヤギの飼育体験を行なっている。自然豊かな場所で、児童生徒も開放的な様子でのびのびと過ごしている。定期的に通うことで、次回を楽しみにする様子があったり、日々の児童生徒同士の会話のきっかけになったり、意欲向上につながっている。睦沢町教育委員会とは、定期的に意見交換をさせていただいており、フリースクールの活動にご賛同いただいている。

2. 教育委員会・民間企業と連携して運動会を開催

11月23日に道の駅むつざわにて「こども大運動会」としてイベント型の運動会を開催した。フリースクールの児童生徒は、事前の準備から当日の司会や用具係など運営として参加した。イベントの目的の1つとして、フリースクールへ通う児童生徒の活躍の機会を含み、道の駅むつざわ運営会社様・協賛企業の明治安田生命様・睦沢町教育委員会の皆様にご協力いただき、開催することができた。また、茂原市教育委員会・一宮町教育委員会の皆様にもチラシ配布のご協力をいただくことができた。イベントの内容としては、各種ブースの出店と4つの参加型種目を開催した。種目には、茂原市近隣9つの市町村から0～13歳の子どもたち延べ90名が参加した。フリースクールの児童生徒の中には、運動会など学校行事には数年間参加してこなかった子もあり、役割を持ち最後までやり遂げる楽しさを感じた様子で、終わった後には充実感に溢れた表情が見られた。そして、イベントには、フリースクールに興味がある親子の来場もあった。面談に来るよりも気軽に足を運べる機会だったそうである。子どもたちの活躍の機会と、新たな出会いの場所として、引き続き開催していきたい。

(3) 不登校児童生徒の教育ニーズとフリースクール等の現状に関する課題

【支援ニーズ調査概要】

別紙にある質問項目に従い、個別で聞き取りにて調査を行った。
対象となる児童生徒の概要は以下である。

小学校2年生：1名（24年11月より利用）

小学校4年生：1名（24年11月より利用）

中学校2年生：1名（24年3月より利用）・中学校3年生：1名（23年9月より利用）

計4名

【現状に関する課題の分析】

回答いただいた内容は別紙の通りである。その内容をもとに分析したものが以下である。

不登校になり、感じていた悩みは以下のようにまとめられる

- ①学習の遅れによる不安や罪悪感
- ②自分のペースで学びたい
- ③生活リズムの乱れ
- ④進路の不安

- ①学習の遅れによる不安や罪悪感

長期的に休んだ後に登校した際に、授業についていけず、再度不登校になってしまう子もいた。学校のペースに合わせることに疲れてしまうとのことであった。そのまま家にいると、さらに遅れていくことへの不安や罪悪感も強いようである。

- ②自分のペースで学びたい

①にもつながるが、まわりのペースに合わせることに大変さを感じているようであった。自分の取り組みやすいところから自分のペースで学べることが、心地良いようである。

- ③生活リズムの乱れ

昼夜逆転など、1日中家にいる生活だと生活リズムが乱れてしまうようであった。意識しても、なかなか直せない難しさや悔しさを感じている子もいた。フリースクールへ通うことで、朝起きる理由ができ、徐々に整っている様子も見られている。

- ④進路の不安

小学生も含め、中学校卒業後は全日制の高校進学を目指し、その後は自分の興味やなりたい職業に就くことを目標に向けて進学していきたく意欲が見られた。しかし、学校へ行けない状況では叶えられないのではないかと自己肯定感が低下してしまう状況もあったようである。フリースクールで学びを進めることは、将来への希望にもつながっているようである。

（4）「不登校児童生徒の保護者のニーズに関する調査と課題の分析」

【支援ニーズ調査概要】

別紙にある質問項目に従い、アンケート用紙にて調査を行った。

回答があった方は2名だった。その方の概要は以下である。

中学校2年生・母：1名（24年3月より利用）・中学校3年生・母：1名（23年9月より利用）

計2名

また、他児童生徒の保護者との入校前面談でヒアリングした内容も付け加えている。

【現状に関する課題の分析】

回答いただいた内容は別紙の通りである。その内容をもとに分析したものが以下である。

不登校生徒を持つ保護者が感じる悩みは以下である。

- ①学校とのやりとりの大変さと関係性の複雑化
- ②学習指導と学習習慣の維持の難しさ
- ③家族以外との関わりが極端に減ってしまうこと
- ④進路の不安
- ⑤フリースクールへ通う場合、金銭面の大変さ

①学校とのやりとりの大変さと関係性の複雑化

→2名ともに、フリースクールへ通う前は学校との面談の調整や日々の欠席連絡など到大変さを感じているようだった。また、学校からの登校を促す働きかけになかなか応じることのできない状況から学校との関係性が悪化してしまう場面もあったようである。フリースクールへ通うようになり、負担の軽減がされたようであった。

②学習指導と学習習慣の維持の難しさ

→学年が上がれば上がるほどに学習指導を保護者が行うことはかなり困難な状況になり、家で学習する習慣付けをすることも大変な様子である。フリースクールへ通うことで、それらが改善されることは、かなり保護者の負担軽減と安心感につながっている。

③家族以外との関わりが極端に減ってしまうこと

→これは、初回面談に来られる保護者ほぼ全ての方が悩まれていることである。学習面の不安よりも強く感じるとのことであった。フリースクールへ通う大きな目的の1つとして、友達との関わりやコミュニケーション力をつけることがあるようである。

④進路の不安

→特に中学生の保護者は、強く感じているようである。当フリースクールでは、かなり広い視点での進路の提案と模索をすることで、本人と保護者の間では選択肢になかった進路もテーブルの上にあげ、選択することをサポートしている。不登校であることに悲観的になるのではなく、チャンスとして捉え選択できるよう支援している。

⑤フリースクールへ通う場合、金銭面の大変さ

→できる限りの利用料で提供しているが、毎月の出費は大変なようである。昨今、近隣市町村でもフリースクール通学への補助金が始まっているところもあるため、情報収集を怠らず、サポートしていきたい。

(5) その他

1 1月より場所を移転し、開校時間の変更などプランの見直しを行った。

その影響か、お問い合わせの数が増加し、新規の入会が1ヶ月で3名あった。増加の原因について、長期的に検証していきたい。

※必要に応じて、項目や行を挿入すること。

※「(3) 不登校児童生徒の教育ニーズとフリースクール等の現状に関する課題」及び「(4) 「不登校児童生徒の保護者のニーズに関する調査と課題の分析」の【支援ニーズ調査概要】は別途資料を添付することにより代えることもできる。

フリースクールアンケート（保護者）

1.保護者のみなさんからみて、学校へ行かなくなった原因は何だと思いますか？

- ・人間関係
- ・幼少期の家庭環境（離婚・転校・引っ越し）/環境に馴染むまでの混乱や不安/シングルマザーになって安定するまでの母のメンタル/長男としてのプレッシャーや両親への不信感などいろいろなことを感じてきた結果だと思います。また、自己肯定感の低さや集団が苦手だと思い込みすぎているところから、ゲームに逃げていったように感じます。

2.学校へ行かなくなり、不安に感じていることはありますか？（例:成績/友人関係/メンタル面など）

- ・家族以外の人との交流がなくなり、外へ出られなくなる
- ・全て。自立していくにあたって、自信を持っていくまでに時間がかかるだろうと。自分のいいところを認めようとしない。原因の一つとして、私（母）が厳しい態度で接してしまうことがあるので、少しずつ心の回復に努めていきたい。

3.学校とのやりとりで大変な点は何ですか？

- ・日々の欠席連絡
- ・特になし。フリースクールに入る前は、欠席連絡や面談の調整など本当に大変だった。

4.どんなことをしている時にお子さんが生き生きしているように感じますか？

- ・誰かの役に立っていることを実感している時
- ・外出や外遊び、料理をしている時

5.学校へ行かず、家で過ごしているとき、お子さんは何をして過ごしていますか？

- ・テレビ（夕方）、学校の時間帯は自習、散歩、買い物や草むしりなどの手伝い
- ・ゲーム、寝る、料理

6.学校へ行かない時間に、お子さんに何かさせたいことはありますか？

- ・できる限り授業と同じレベルの学習指導を受けさせてあげたい
- ・なんでもいいので興味・関心があることを探求してほしい。学校では習わない大事なことに目を向けてリサーチしてほしい。それをきっかけに行動してほしい。

7.家で学習をする際に、どんな困り感を感じていますか？

- ・理解が進まないとそこで止まってしまう。集中力が続かない。
- ・ゲームばかりで学習へ向かわない。私（母）との会話を増やすことが大切だと感じており、2人きりで出かける時間を作っている時は、少しだけ意欲が上がっているように感じます。

8.フリースクールへ通うことで解消された悩みはありますか？

- ・学習の指導を親がやらなくて良い、自分と同じ悩みを持っている子がいて安心できる、相談できる（信頼できる）人がいてくれること
- ・学校とのやりとり、周囲からの批判や圧力、学習への不安

9.フリースクールに通わせる上で、ハードルは高かったですか？（気持ち、金銭的、世間体など）

- ・金銭面が大変
- ・金銭面、他兄弟への影響、スケジュール管理、通わせてみて合わないと感じた時の本人の気持ちと母の不安感、また情報収集して新たな場所を探す気力が湧くのか、本人の自

己肯定感がまた下がってしまうだろうな...など考えると二の足を踏む思いだった。

10. フリースクールの開校頻度や開校時間は、どのくらいが理想ですか？

〈開校頻度〉

- ・週 5：家から出られない子にとっていつでも行ける環境だと、気持ちが上がっている時にいくことができるので理想だと思います。
- ・週 4：2 日行って休むくらいの方が生活リズムが崩れず、適度にリラックスできそうです。学校へ戻る可能性や就職の際にも我慢が利く、学習ペースも良さそうです。

〈開校時間〉

- ・9～17 時
- ・9～14 時

11. フリースクールで学習面や体験活動、メンタル面など、どんなことをしてほしいと感じますか？（フリースクール以外でも学校以外でさせたいこともご記入ください。）

- ・学習指導、カウンセリング、対人スキル、居場所、その子にあった体験や活動
- ・職業体験、対人スキル、居場所、外国人との交流、お金や政治の勉強、メディアや日本と世界との関係などは子どものうちから知っておくことが大事だと感じています。

12. フリースクールに通い始めることに迷いはありましたか？迷いがあった場合その理由をご記入ください。

- ・なかった
- ・あった：9 に同じ。今まで築いてきた友人関係がどうなるか、本当にこの選択は間違っていないのだろうかなど。

13. 学校へ行かないことで、学校の成績が下がるもしくは成績が付かないことに関して、何か感じることはありますか。

- ・進路への不安
- ・進路への不安、正直、通知表はわかっているけどショックなので見たくないです。それでも学校以外の場所で努力していることはわかっているのです。

14. お子さんが将来社会に出るために、身につけてほしいことはありますか？

- ・コミュニケーション力
- ・礼儀、コミュニケーション力、創造力、協調性、知的好奇心、自主性、行動力、計画性、自信、ポジティブに人生を楽しむ力

15. もし可能でしたら、SNS やホームページへみなさんの口コミを掲載させていただければと思います。フリースクールを探している方に向けて、ご自由にご記入ください。

- ・学校に行けない時に、親子だけでは見えない答えや道筋を一緒に考えてくれる場所や人がいてくれるのはとても心強かったです。行き詰まった時に、少しでも笑ったり話をしたりできることは親にとってもとても大切なことだと感じました。StudyBase での時間は私たち親子の心の拠り所でもあります。

フリースクールアンケート

1. フリースクールに通う前に感じていた悩みはなんですか
 - ・勉強の遅れ
 - ・わからない
2. フリースクールに通ってみて、良かったことはなんですか
 - ・行くのが楽しみになった。時間割があるところは学校と似ているけど学校よりは行きやすい。勉強の時間が、自分のできる範囲のものを持ってきてできる。(決められたスピードで決められたものをやるのが大変) 休んでから学校へ戻ると勉強が進んでいて大変だった。
 - ・工作が楽しい。
 - ・学校よりいろんなことができる。(マルシェや運動会) 生活リズムが整う。勉強を教えてもらえる。
3. フリースクールで、もっとやってみたいことはなんですか
 - ・今の学年の勉強まで進めたい。遠足。やぎなどの自然体験。
 - ・遠足。自然体験。運動会。料理。お祭り。
 - ・遠足。電車でどこかにいく。体育館で遊ぶ
4. フリースクールに通う前、フリースクールをどんなところだと思ってましたか
 - ・学校に似ている場所 (時間割がありそう・人がいっぱいいる)
 - ・時間割はない、人は少ない
 - ・先生が年配の方だと思った。
5. どんな人にフリースクールへ通うことをおすすめしますか
 - ・東京の学校に行けていなかったお友達
 - ・学校に行けていない人 (学校のルールに縛られたくない人)
6. フリースクールに通っていなかったら、今どう過ごしていたと思いますか
 - ・ずっと何もせず、勉強も進まず罪悪感だけ残っていたと思う。
 - ・生活リズムが狂っていた。仕方なく学校に行っていた。
7. 中学校を卒業後、どんな進路を考えていますか
 - ・高校に入学したい→親からの自立ができるようにしたい (保育士：親戚の3歳の子の面倒を見て、親から向いていると言われた)
 - ・北海道の高校へ行く→心理の大学へ行きたい